

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第4回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】2012年12月12日(水) 14:00～15:00

【場 所】以下の3拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：
越野教授室、昭和大学：1号館505号室

【出席者】城教授(岩手医科大学)、越野教授(北海道医療大学)、片岡教授(昭和大学)

————— 議 事 内 容 —————

1. 第1回ワークショップ開催を終えて

1) アンケート集計結果 資料1に基づき、概要を確認した。

2) 報告書目次

報告書目次案として資料2につき討議し決定した。

3) 報告書作成の進捗状況

(1) セッション報告・印象記

(2) 原稿依頼 年内にゲラを作成し、早急に配布する予定である。

4) IT教材を試用するためのガイド(資料3)

(1) VP (マニュアル添付：資料4)

(2) 電子ポートフォリオ

(3) e-learning

事務局から第1回ITを活用した教育センターワークショップ参加者に「VP、電子ポートフォリオ、e-learningを試用するためのガイド」を配布し、実際に上記(1)～(3)のIT教材にログインしてもらう事になった。

ワークショップに参加していない教員に関しては、岩手医科大学 城 教授、北海道医療大学 越野教授、昭和大学 片岡教授が各大学で周知を計る事になった。

各大学のIT環境視察の結果、大きな問題はない事がピコラボ社から報告された。

ただし、上記IT教材を授業で活用するためには、学生のPCの管理とその活用能力を向上させることが重要であり、各大学で取組が必要である事を3校で確認した。

2. ワーキンググループ Skype 会議マニュアルについて(資料5)

ワーキンググループで Skype 会議をする際は、予め事務局へその旨を通知し簡単な議事録を送付してもらう事になった。事務局から各ワーキンググループの責任者(美島教授、城 教授、向井教授・越野教授)へ、開催通知書の雛形を含めたワーキンググループ Skype 会議の開催の手順書を後日メールで送付する。

3. ワーキンググループの教材作成について

1) 現在の進捗状況 越野教授：具体的にはまだ活動を始めていない。

城 教授：メーリングリストを作って何度か進め方については意見交換をしている。

各大学代表者 1 人選出してもらい月 I 回程度 Skype 会議の開催を予定。

歯科医師会の方々には、ある程度教材ができてからご意見を頂く。

向井先生が 3 月でご退任の為、越野先生にグループ 3, 4 を将来的にとりまとめて頂く。

4. 今後の進行について(資料 6)

次回は 2013 年 1 月 21 日(月)10 時 30 分から第 5 回 IT を活用した教育センター会議を開催する。

第 6 回 IT を活用した教育センター会議では、ワーキンググループ毎に教材作成の進捗状況の中間報告してもらった。それぞれのワーキンググループで、出席者を最低 3 名決めてもらい、その後日時を調整する事になった。

各ワーキンググループの責任者に第 6 回 IT を活用した教育センター会議出席者リスト(各大学最低 1 名)を 2013 年 1 月 16 日(水)までに事務局に送付してもらった事を依頼する。2013 年 3 月 7 日の第 2 回 IT を活用した教育センターワークショップにご出席できない方がいる場合は、代理の方に出席して頂き本事業を各大学に周知してもらった。また 3 月 6 日に前泊していただき、懇親会を開催する。懇親会は次回から参加費用を頂く事になった。

5. その他

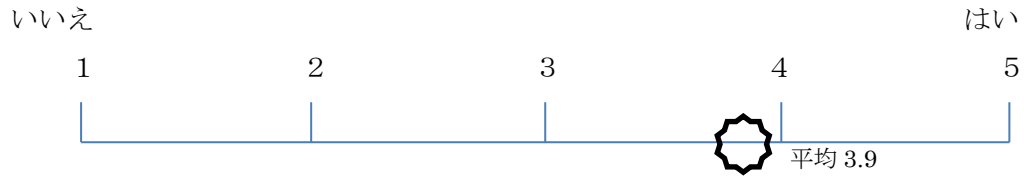
城 教授より「3 校で連携しているので授業のモデルを 1 つ作り、その後各大学でカリキュラムに応じて適宜変更し活用していく方がいいのでは？」とのご指摘があった。

3 校で協議して、まずは昭和大学の平成 25 年度 3 年生のカリキュラムにそった教材を作成する事にした。その後改良を加えて岩手医科大学、北海道医療大学のカリキュラムに合わせて実施する事に決定した。

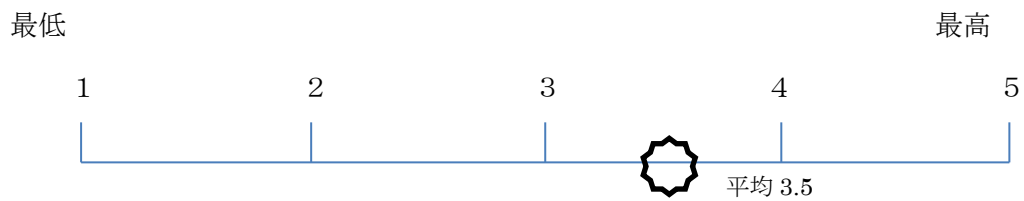
〈次回会議日時〉 2013 年 1 月 21 日(月) 10 時 30 分～

第 1 回 IT を活用した教育センターワークショップの評価

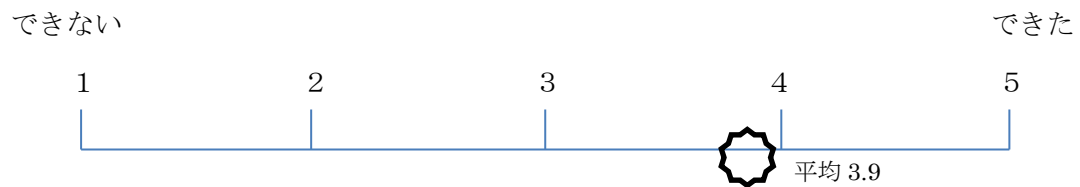
① 本日のワークショップの流れにスムーズに入り込めましたか？



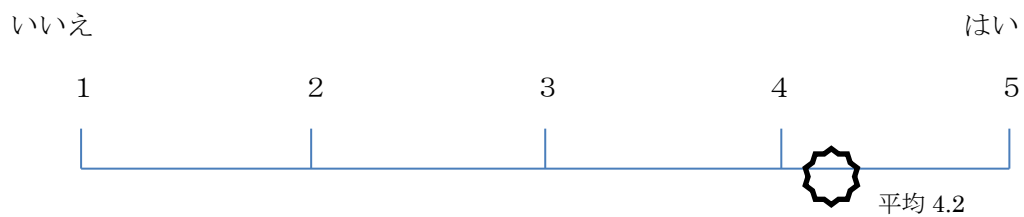
② 本日各セッションの討議にはどの程度参加されましたか？



③ 文科省の本事業の内容をどの程度理解できたでしょうか？



④ IT を活用した歯学教育への関心は高まりましたか？



- ⑤ その他ご意見・ご感想（何でもご自由に）
- IT に関してはもっと多用であると感じます。また高齢者はもっと幅広く介護だけでは足りないと思う。
 - 資料早めに送って欲しい。
 - IT を活用した歯学教育へ少しでも貢献できたらと思います。ワークショップの準備等ありがとうございました。次回もよろしくお願い致します。
 - 「マンパワー」の「すごさ」を実感しました。大変勉強になりました。
 - IT と生身の人間とは対局と思っていましたが、考えて行かなければならないのかなと痛く感じています。
 - ブラッシュアップに期待します。
 - IT 関連は無知なので勉強になりました。
 - お疲れさまでした。
 - 歯学関係者と WS は体験したことが無く大変貴重な時間でした。
 - 歯科医師会参加の意味がつかみにくかった。
 - もう少し時間が欲しかった。
 - カリキュラムを作るときのハードの部分が理解できていなかったのも、具体的に知りた
い。
 - 向井さんのお陰でした。ありがとうございました。
 - 次回より頭の中を整理して協働して事業に参加できるようにしたいと思います。
 - 事前に詳細な内容を理解できずに参加してしまったので反省しております。
 - 内容が多すぎでは？ 時間が短くてやりにくかったです。
 - 期間が限られた中ですが、良いコンテンツができればと期待しています。
 - 時間通りの進行、お疲れ様でした。
 - 準備ご苦労様です。有意義でした。
 - 短時間で内容のある WS だったと思います。有意義で大変参考になりました。
 - IT を利用した方が効率があったかどうかの評価もできるように、今後検討して頂ければと思います。
 - 前半の KJ 方によるワークショップは初めての体験だったので非常に興味深かった。後半はなかなか具体的な教育プログラムの提示まで協議できなかったのも、もう少し時間があれば良かったと思いました。

目 次

第 1 回 IT を活用した教育センターワークショップを開催して

昭和大学 歯学部 歯学部長 宮崎 隆..... ●

第 1 回 IT を活用した教育センターワークショップを終えて

昭和大学 スペシャル・ス口腔医学講座 歯学教育学部門 片岡 竜太..... ●

第 1 回 IT を活用した教育センターワークショップ

1. タイムスケジュール ●
2. 参加者名簿 ●
3. 「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」事業の概要 ●
4. セッション 1 の報告 ●
5. セッション 2 の報告 ●
6. セッション 3 の報告 ●
7. アンケート集計結果 ●
8. ワークショップの感想とワーキンググループの今後の活動について
昭和大学 口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門 教授 美島 健二..... ●
9. ワークショップの感想とワーキンググループの今後の活動について
岩手医科大学 口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野 教授 城 茂治..... ●
10. ワークショップの感想とワーキンググループの今後の活動について
北海道医療大学 口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野 教授 越野 寿..... ●

VP、電子ポートフォリオ、e-learning を試用するためのガイド

1) Virtual Patient システム

URL : <http://vp.showa-u.ac.jp/VpWebSite/>

北海道医療大学、関連歯科医師会

ユーザーID : ****

パスワード : ****01

岩手医科大学、関連歯科医師会

ユーザーID : ****

パスワード : ****

昭和大学、関連歯科医師会

ユーザーID : ****

パスワード : ****

※利用ブラウザに関する注意

- Internet Explorer 8 以降のブラウザをご利用ください。その他のブラウザでも対話はできますが機能制限等があります。
- Mac OS では日本語入力がうまくいかないため対話できません。
- 試用用のアカウントを登録済みです。
- 別々の PC からであれば、同時に下記のアカウントでログインして問題ありません。

2) 電子ポートフォリオシステム

URL : <https://eportiw.showa-u.ac.jp/>

学生ユーザーID およびパスワード :

ユーザーID	パスワード	ユーザーID	パスワード
****	****	****	****
****	****	****	****
****	****	****	****

- 6人の架空の学生を登録済みです。
- 学生ユーザでログイン後のページ上部にある「利用ガイド」をご覧の上、操作をお試しください。

教員ユーザーID およびパスワード :

ユーザーID	パスワード
****	****
****	****
****	****

- 3人の架空の教員を登録済みです。
- 教員ユーザでログイン後のページ上部にある「利用ガイド」をご覧の上、操作をお試しください。

※利用ブラウザに関する注意

- Internet Explorer 8 以下のバージョンではレイアウトの崩れや動画再生が行えないなどの機能制限があります。
- Windows Vista/7 環境で Internet Explorer をご利用の場合には、必ず Internet Explorer 9 をご利用ください。
- また、Internet Explorer 9 をご利用いただけない Windows XP 環境でご利用の場合、Firefox もしくは Google Chrome の最新版をご利用ください。

3) e-learning システム

URL : <https://el5.showa-u.ac.jp/iw12/>

ユーザーID およびパスワード :

管理者ユーザ ID	パスワード
****	****
教師ユーザ ID	パスワード
****	****
****	****
学生ユーザーID	パスワード
****	****
****	****

- 試行用のアカウントを登録済みです。

ご不明点等ありましたら、下記までお問合せ下さいませようお願い致します。

- 1) Virtual Patient システム : renkei-vp@picolab.jp
- 2) 電子ポートフォリオシステム : renkei-eport@picolab.jp
- 3) e-learning システム : renkei-el-contents@picolab.jp

問合せ電話番号(ピコラボ社代表電話番号) : 03-3568-2199

大学間連携事業Skype会議 簡易マニュアル

はじめにご確認ください。

- 1) マイクやスピーカーは準備できていますか？
 - 2) PC用のWebカメラは準備できていますか？
- !) マイク内蔵型のWebカメラもありますのでご確認ください。
 !!) ヘッドセットを使うと明瞭な音声で利用できます。
 => 機能チェックはSkypeを起動してからでも行うことができます。

次に、ご確認ください。

- 1) Skypeソフトウェアはインストールされていますか？
=> 無い場合や不明な場合は、Skype社HPよりインストールしてください。
- 2) 個人用のSkypeアカウントをお持ちですか？
=> 無い場合は下記、参加者用Skypeアカウントをお使いください。
=> お持ちの場合は、事前に、主催者へSkypeアカウント名をメールでご連絡ください。

ご注意ください

!) 主催者用Skypeアカウントは複数人で会議ができる特殊なアカウントです。主催者以外の方のご利用はお控えください。

!!) 主催者の方は、必ず「主催者用Skype」アカウントを利用してください。複数拠点間の会議が招集できるのは、主催者用アカウントのみです。

会議参加の流れ（参加者）

STEP1 (ログインの開始)



STEP2 (Echo / Sound Test Service で通話テスト)



STEP3 (主催者からの呼び出しをお待ち下さい)



STEP4 (呼び出しがありましたら、「ビデオ通話で応答」を選びます。)



参加者用Skypeアカウント

連携事業SkypeA

- ・Skype名: renkei-skypea
- ・パスワード: ****

連携事業SkypeB

- ・Skype名: renkei-skypeb
- ・パスワード: ****

会議開催の流れ（主催者）

STEP1 (主催者用Skypeアカウントでログイン)

STEP2

Echo / Sound Test Service で通話テストをおこなってください。

STEP3 参加者を呼び出してください。



!) 新規のSkypeアカウント(個人利用アカウント)を参加させるには、事前登録する必要があります。この場合には、事前に主催者Skypeアカウントに対する呼び出しを相互に受け付けて、登録・済みとしてください。(会議開催前にメール等で相互にアカウント名を共有しておきます)

主催者用Skypeアカウント

- ・Skype名: renkei-skype
- ・パスワード: ****

実施前の準備に関する技術的問い合わせ先: devel-e_portfolio@picolab.jp (ピコラボ社)
 (支援必要な場合は、会議開催の1週間前までにご連絡ください)

文部科学省大学間連携共同教育推進事業 プロジェクト進行概要

2012年12月12日 第4回センター会議



2013年1月21日(月) 第5回センター会議:
ワーキンググループ毎にどのような教材にしたのかその概要の報告



2013年2月18日(月)予定 第6回センター会議:
作業中間報告 ワーキンググループ毎に状況を報告して頂く



2013年3月7日(木) 第2回ワークショップ開催:ブラッシュアップ